



世界に誇れる日本！

世界に誇れる日本の技術、伝統を集めてみました。



1) 日本のマンホールは素晴らしい技術が盛りだくさん！

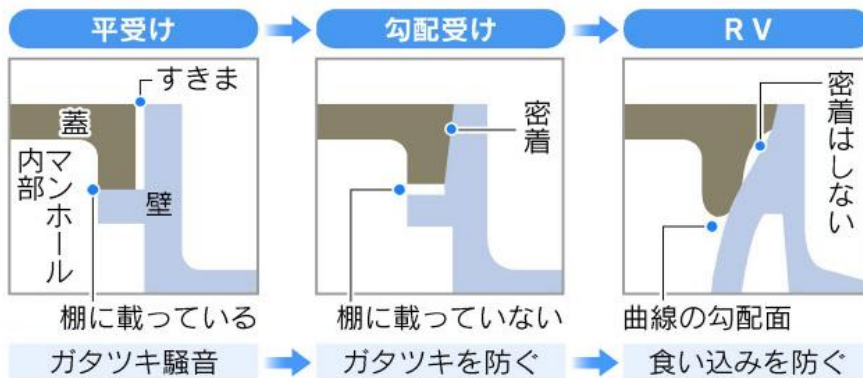
マンホールの蓋の構造は日々、目覚ましい発展を遂げています。

元々は、壁の受け枠が直接支える「平受け」という構造でした。技術はிரらない代わりに「平受け」は隙間に異物が入りやすく、車の通行の振動でガタツキが発生し、騒音をもたらす深刻な問題がありました。

この解決策として「勾配受け」が70年代に登場。蓋の側面と受け枠を6~10度の勾配面に加工し、ぴったり密着させることでガタツキが発生するのを防ぐ仕組み。

すると次は、過剰な食い込みが問題となり「RV」構造が2006年に登場。接続部分を新たに曲線による勾配面に加工。蓋と受け枠の密着する面積を抑え、食い込みが最適になるように設計しました。

(出典：日本経済新聞)



世界に類を見ないデザインマンホールの登場！

昭和60年代より、当時の建設省公共下水道課建設専門官が、下水道事業のイメージアップと市民アピールのために、各市町村が独自のオリジナルデザインマンホールにすることを提唱したことから、デザイン化が進み始めました。



大阪市
大阪城と桜



堺市
平成元年に市政100周年記念で登場。現存日本最古の木製洋式灯台の一つとして国の史跡に指定されている「旧堺灯台」と、貿易船、市章。



奈良市
奈良公園の鹿と八重桜



アニメが描かれたデザインもあります！

広島市 カーフ坊や

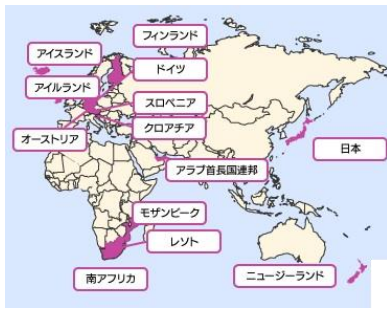


鳥取県北栄町コナン通り
名探偵コナン



高知県香美市
アンパンマン

2) 水道水をそのまま飲める国はたった13か国！



日本→世界でも有数の水道施設により、安全性の高い水道水を提供。ドイツ(硬水)、アイスランド(水道水も天然水で美味だそう)、アイルランド、オーストリア(アルプスより取水)、フィンランド(ペットボトルの水より高水質らしい)、スロベニア(都市部のみとの噂も)、クロアチア(石灰分が多いそう)、アラブ首長国連邦UAE(真水を精製して電解質で殺菌されているそう)、モザンビーク(煮沸したほうが良い)、レソト(煮沸したほうが良い)、南アフリカ(胃腸の弱い人は避けたほうが良いそう)、ニュージーランド(弱アルカリ性)。

(出典：国土交通省)

3) 外国人観光客が感動するウォシュレットは海外では売れない？

TOTOが発明したウォシュレットは、現在日本では7割以上の家庭で定着しているそうです。海外で売れない理由を探るべく、日本で売れた理由を調べました。

①清潔好きな国民性

日本は湿気の多い気候のため、菌の繁殖に気をつけなければならなかったこともあり、清潔好きが多いそう。

②発売時期

日本初、家庭用ウォシュレットが発売されたのは1980年。「なくてはならないもの」ではありませんでしたが、バブル景気に後押しされて大ヒットに繋がった。

③水事情

ウォシュレットは、ハイテク技術が使われています。精密な機械なので、軟水の綺麗な水道水を使用することが条件になっているようです。

④治安の良さ

海外のトイレでは、トイレトーパーや手洗い石鹸、便座までも盗まれることがあるそうです。公衆の密室空間に高価なものを共同で使用させるには、治安の良い環境が必要です。

その他、色々と要因はあるでしょうが、恵まれた環境だからこそこの商品です。

(出典：マダムリリー)



4) 世界最古の企業は日本にある！

大阪市天王寺区にある、神社仏閣を専門に建てる、堂宮大工の「金剛組」。最初の仕事は、聖徳太子が発注主と言われる四天王寺の建立。百濟から呼んだ「金剛重光」によって創業し、なんと578年創業で1400年以上続いています。
ちなみに・・・世界最古企業トップ3は全て日本にあります。(出典：ギネス世界記録)



飛鳥から、未来へ
剛 金剛組

5) 日本のお城は難攻のための工夫だらけ！なかなか天守へ辿りつけない仕組み

【立地】攻めるに難く、守るに易い場所

小高い丘や、周りが川などがある場所が好立地。今でも天然の要塞が見られます。

【道】

*狭く、くねくね道

これは、大勢で一気に攻められないため。刀や槍を持ちながらだと、せいぜい一人か二人しか並べない狭さにしています。

*登りにくい階段

階段の幅が中途半端で、登りにくくなっています。
逆に、降りるにはちょうど良い幅になっています。



*虎口

お城の出入り口に四角く広い空間(柵形虎口)がある。ここは守りの要で、敵はまず走ってきた勢いをそがれる。また、城側から袋叩きにされる。



【狭間】

土塀や、白の壁に三角や丸、四角の形をした穴がある。

ここは「矢狭間」や「鉄砲狭間」と言われ、

ここから鉄砲等を突き出し、攻撃(守る)する。



【石落とし】

石垣の上に乗っている、天守や櫓(武器等の倉庫)の一層目が外にせり出ている「張出」部分には、穴が空いていて、石垣を登ってくる敵に石を落としたり、攻撃する場所があります。



【武者窓】

お城の窓には、外からは内側が見えにくく、内側からは外が良く見える「武者窓」と呼ばれる窓があります。外からは平面に見える窓格子ですが、実は三角形で尖がっている方が内側にあるため、外がよく見えます。

(文献：戦の備えから見たお城の楽しみ方)

6) 日本の公共交通機関は世界一 時間に正確！？



鉄道

日本の鉄道が時間に正確なのは、もはや有名です。1分～5分の遅延でも放送でお詫びする国は、他国ではあまりないようです。



バス

日本のバスもあまり遅延しません。渋滞なども計算に入れた時刻表です。



飛行機

アメリカの調査で飛行機の定時到着時刻率は日本(ANA、JAL)が世界 NO.1、2という結果が出ています。その正確率は90%以上。

公共交通機関では遅延しないように様々な工夫がされています。細やかな工夫が日本人らしく、世界に誇れる「おもてなし」ではないでしょうか。(文献：FlightStats)

7) 自動立体駐車場は珍しい?

無人で、車を機械で自動的に所定の位置まで運び、また戻ってくる。わたしたちも自動立体駐車場の中身がどうなっているのか、あまり知りませんが、海外では珍しいものでハイテクさに驚かれ、SF 映画を見ている気分になるそうです。日本特有のものではないですが、海外ではあまり多くないそうです。土地が少ない、日本の環境だからこそあちこちで見かけます。

(文献：世界のジバング)



8) 日本は現存する世界最古の国?

実はギネスにも認定されている通り、日本は現存する世界最古の国です。歴史で習ったメソポタミア文明や、中国は?と思うかもしれませんが、メソポタミアや中国の当時の王朝はすでに滅び、今はもうありません。

日本も幕府(政府)は変わり続けていますが、天皇制は長きに渡り続いており、紀元前 660 年 2 月 11 日最初の神武天皇から、約 2700 年、125 代の歴史を誇ります。(王朝の歴史はもっと短いという学説でも約 1500 年で、やはり世界最長に変わりありません。) 天皇制が続く限り、「日本」は歴史を刻み続けます。(出典：ギネス世界記録)

9) 日本の自動販売機は最先端?

そもそも、自販機があちらこちらにある国は滅多にありません。お金の詰まった自販機を無防備に置いておいて問題のない国はあまり多くないようです。

冷たい飲み物と温かい飲み物を一緒に販売しているのは日本発、というのは有名ですが、その他、Wi-Fi が使えたり、緊急地震速報が流れたり、顔認証をして、その人に合った飲み物を提供したり、データベースを取ったりと、ハイテク化は止まりません。自販機大国 日本というにふさわしく、ラインナップも豊富です。

飲み物はもちろん、お菓子、果物、その他意外なものまで売られています。(文献：トレース)

緊急地震速報付き自販機

カットリンゴ自販機

顔認証&ニュース付き自販機

湘南ご当地名物



Proactive 洗顔料

JINS PC 眼鏡